

# 博士課程教育リーディングプログラム 平成27年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	京都大学	申請大学長名	山極 壽一
申請類型	複合領域型（安全安心）	プログラム責任者名	北野 正雄
整理番号	D01	プログラムコーディネーター名	寶 馨
プログラム名	グローバル生存学大学院連携プログラム		

## <プログラム進捗状況概要>

### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

現代の地球社会においては、①巨大自然災害、②突発的人為災害・事故、③環境劣化・感染症などの地域環境変動、④食料安全保障といった危険事象や社会不安がますます大きく、かつ広がっている。

本学位プログラムでは、「グローバル生存学」という新たな学際領域を設定し、

- (1) 人類が直面する危機を乗り越え、人間社会を心豊かにし、その安寧に貢献するという使命感・倫理観にあふれた人材
- (2) 自らの専門性に加えて幅広い視野と知識・智恵によつて的確に対策を行うことのできる判断力・行動力を備えた人材

の育成を目指し、安全安心分野において研究・教育の実績・経緯をもつ研究科が結集して、研究科横断型の大学院連携の教育システムを確立する。

### 2. プログラムの進捗状況

新入生の履修生（予科生）26人及び3年次編入履修生（予備生）4人のうち、それぞれ20人、3人を本科生として受け入れた。これにより、学生数が68人（4年生20人、3年生17人、2年生11人、1年生20人）となった。本年度は2年生3人が離脱した（進路変更のため）。履修管理、成績管理、リーダーシップ要件の達成度の確認に用いることのできるeポートフォリオシステム（GSSフォリオ）の本格的な運用を開始し、授業レポートや国内外での実習・活動報告など種々の学びの証拠を格納し、それを指導教員、メンター教員が参照できるようにした。4月より学位審査委員会の活動を開始し、学位審査の流れや基準に関する申し合わせを制定して指導教員や学生に周知した。本年度末には1名のプログラム修了者を輩出した。第5回の国際アドバイザー会議を開催し、学生が主導するセッションを設け、国際会議におけるリーダーシップ発揮の場とした。また、ライジングリーダー講演会、リーディングエキスパート講演会、英語スキルアップ研修、リーダーシップワークショップを開催し、学生の啓発・スキルアップの場を設けた。新しい企画として産学連携ワークショップを開催し、学生と企業関係者が相互に対話することによって安全・安心分野の新規プロジェクトの創出につなげた。